

NEXT VOLLEY BALL

8

バレーボールネクスト
Vol.8
主婦の友ヒットシリーズ



新時代到来!

【特集】

日本バレー、進化の謎を解き明かす

＜スペシャル対談＞

西田有志 × 増村雅尚

世界を驚かせた小さなエースと動作分析のプロによるマニアックすぎるバレー談義

【Photo Library】

ワールドカップ2019の
興奮が蘇る写真集

【ヒーロー対談】

関田誠大 × 山本智大

【総監督対談】

新井雄大 × 大塚建宣 × 柳田将洋

【NEXT DRAGON】

宮浦健人

＜インタビュー＞

福澤達哉 小野寺太志

【スリートの目録】

石川祐希 柳田将洋
山内晶大 高橋健太郎



【増村雅尚氏 プロフィール】

1976年、長崎県生まれ。筑波大学バレーボール部では加藤陽一氏（JTマーヴェラス コーチ）と同期で大学3年から日本代表選手（1997～2002年）として活躍。大学を卒業後、富士フイルムで選手として活躍しながら大学院（人間総合科学研究科）で学ぶ。異色の選手だった。数学が得意で、学生時代から自身を被験者としてさまざまなデータを取り、動作分析を行ってスキルアップに貢献してきた。堺ブレイザーズやつくばユナイテッドでもプレーしている。2012年から熊本県の崇城大学で教鞭をとる。男子バレーボール部の監督として学生を初心者から指導し、九州学連4部から2部へ導いている。崇城大学総合教育センター准教授、日本バレーボール協会ハイパフォーマンスサポート委員

増村雅尚氏と西田有志の対談本文。縦書きの文字が背景にぼやけて表示されている。



世界へ羽ばたくべくして羽ばたいた新星。果てしない探究心とパフォーマンス力で日本を救う

対^{Special}談

世界を驚かせた小さなエース

西田有志

動作分析のプロフェッショナル

増村雅尚

（崇城大学准教授）

4年前の世界カップで石川祐希が一躍、世界のトッププレーヤー仲間入りを果たしたように、強烈なジャンプサーブで世界にその名を知らしめた西田有志。中でもチームを勝利へ導いたカナダ戦での連続サーブポイントは記憶に残る、圧巻のプレーだった。そんな西田の活躍を冷静に見つめていたのが、元日本代表のオポジットで、動作解析の専門家である増村雅尚氏だ。科学の側面からバレーボール技術の向上につながる研究を行う第一人者の目に、ほぼ独学で技術を磨いてきた西田有志のプレーはどのように映ったのだろうか。

取材・構成 金子裕美